

### 第3回 笠岡市新病院建設事業に係る再検討会議 会議概要

日 時：令和8年5月25日（月）19：30～20：10

場 所：笠岡市役所3階第1会議室

出席者：委 員 6人

笠岡市 市長，副市長，総務部長，こども・健康福祉部長

市民病院 病院事業管理者兼院長，管理局長ほか6人

傍聴者 山下市議，岡山県職員1人，笠岡市職員等6人

#### 1 開会

市長あいさつ

- ・これまでの2回の会議で，専門的知見に基づいた忌憚のないご意見をいただいたことに対しまして，改めて深く感謝を申し上げます。
- ・笠岡市民の健康や地域の医療を将来にわたって守るために，市民病院が公の医療機関として何を直接やるべきか，どのような病床機能でどの程度の病床数で担っていくのか，さらには経営手法についてもあらゆる可能性を排除せず，多くのご意見をいただいています。
- ・本日ご協議いただいた後に，委員の皆様からのご意見を報告書として頂戴し，それを踏まえて今後のあり方について，設置者である市長の私が判断をし，決定させていただきたいと考えています。

#### 2 議事（進行：則安委員長）

##### （1）前回までの振り返り

- ・事務局で1，2回の検討会議で委員から出た意見を集約して説明

##### （2）市長への報告書（案）について協議

- ・「不採算部門等の医療について」で，笠岡の新病院は公の医療機関として救急，周産期を維持する役割を担う，と読みとれるが，救急を維持するにはかなりの医療スタッフも必要となり，負担が大きい。
- ・「不採算部門等の医療について」で，6月からの診療報酬改定で救急に点数が付加されて，本気でやれば採算が合うところではないか。
- ・今後どの地域でも増えると予想される高齢者救急の受け入れを担っていただきたい。
- ・新病院で救急を全部見るというわけにはいかない。実際にトリアージというのも少し荷が重い。
- ・今は下り搬送ができるので，下り搬送の受け入れ先というのも重要な役割。ある程度の病床，機能を維持するというような形の報告書にしていきたい。
- ・「病床機能と病床数について」現在の場所で段階的に縮小し，建物の建設については市の財政状況を考慮しながら検討されたい。

- ・ 笠岡の5歳児健診は、小児科医が足りているので内科医が担当する必要がない。小児科は不足しているとは言えない。
- ・ 経営形態については、公務員が運営する病院というのは、今の医療制度では赤字になることはほとんど間違いないと思うので、それを市がどこまで負担できるかというのを、最終的には市長が考えればいい。
- ・ 「外来診療科について」これまでの議論の中では整形外科とか泌尿器科も具体的に挙がっていた。笠岡市全体での医療としては必要性があると思うので維持していただきたい。
- ・ 報告書の修正については委員長と事務局に一任すること、報告書は委員長、副委員長から後日市長へ手交することを確認。

### 3 閉会

(谷口副委員長)

- ・ 本日はお忙しい中お集まりいただき、真摯なご審議をいただき、誠にありがとうございました。討議の結果を踏まえて報告書を作成し、市の方へ提出することになります。市及び市民病院、周りの医療機関も協力して、報告内容を実現し、市民の方々に十分な医療が提供できるようになってほしいと思います。